

半導体業界のライオンズ・シエアーを目指して

凛然として神楽坂からの挑戦

アンカー・ビジネス・シス
テムズ(株) 代表取締役社長

永田 隆一



—20—

平成一九年、新しい年がスタートいたしました。

さて、倅せな人生は、

バランスの取れた人生と考えます。新 将命(あたらし まさみ)さんの5Kの考え方は、実現は難しいのですが、とても参考になります。

①家族、②経済(収入と支出)、③会社、④健康、⑤心と教養の頭文字が5Kです。一年の始まりに、具体的な目標とアクション・アイテムをノートに書いてみるのも一興でございます。

《ビジネスの成功》

成功を勝ち取るために、重要なことは、リーダーが、ビジネスやプロジェクトを俯瞰(ふかん)

シエクトを俯瞰(ふかん)高い所から広く見渡す

事)して、ビジネス・プランを策定して、チーム全体へ説明することであります。しかし、その前提としての、ビジョン(経営理念)やミッション(使命)は、さらに重要です。

《ビジョン・経営理念》
ビジョンを明確に掲げて、周囲へ説明することは、リーダーの責任であります。ビジョンは、経営理念と邦訳されていますが、事業の将来像・経営の哲学・経営を通して将来実現したいことなどを指します。ビジョンが、企業や組織のイメージを縛ります。また、従業員の思考や研究開発の方向性を、根本的な部分で左右いたします。

アメリカのJ.F.ケネディは大統領になりビジョ

ンを示しました『アメリカは、有人宇宙飛行という科学において世界のリーダーになることをビジョ

多少の事は多めに見よう。本物のリーダーに任せよう

ンにする。そして、一九六〇年代の終わりまでに、人類を月に着陸させて無事に帰還させよう』

ビジョンを描けないリーダーは、リーダーの座を下りてください。あなたのことです。そして、得意な分野でフォロアーとして貢献してください。そのほうが組織に大きく貢献できるのです。

《ミッション・使命》
ミッションとは、その

企業が存在する理由や価値観です。また、提供する製品・商品・サービスを総括して、さらにお客が誰かを定義いたしました。

ビジョンとミッションを明確に明示している企業で働きますと『なぜ、そうなのか』『この事業戦略は、ミッションから逸脱しているではないか、いや、自分の判断に誤りがあるのだろうか』と自問・自省をうながし

益という結果でのみ会社の価値を評価され、また、常にそれらのメトリックス(ものさし)で会社の業績を判断し、自ら存在意義を問う確認作業と自助努力を怠らない会社を設立する』であります。さて、難しく分らないとおっしゃるあなた、どうかお引取り願います。どうぞ出口はあちらです。正面玄関ではなく、そう、非常階段を使ってください。

《事業計画》
エレクトロニクス・半導体業界では、『Fast Eats Slow』(早きが遅きを喰う)と言われております。さて、リーダーは、無駄を省き、効果的であるために、事業計画を具体的に策定しなければいけません。具体的であれば、具体的な課題や問題が早期に発見できます。

例として、私が慣れ親

しんだ事業計画は、次の五つのクワイテリアです。

①目標…(A装置で次世代半導体プロセス開発でD.T.O.R.(開発装置)としてリーダーとなる。

それが量産工場で採用されるための王道であるからです)

②ゴール…(一年後に、次世代半導体プロセス開発拠点七箇所内、四箇所A装置を搬入する)

③戦略1…(次世代に必要なプロセス条件一三項目をデモ機を利用して立証する)

④戦術1…(七顧客のそれぞれのM.R.S.(市場要求仕様)を分析して、装置Aが競争優位のポジションを維持するために顧客に優先順位をつけてアプローチする)

⑤障害(技術的課題を設計、製造、顧客特別な仕様等その要因をクリアーにして、各項目に対して、開発部隊に〇〇パーセントの改善をいつまでに達成してほしいと明確に示し、トップ・マネットにコミットしてもらいま

す) 目標は、明確なもの。ゴールは必ず時限設定があり、客観的に達成が測れるもの。

戦略は、一つの目標に対して五個、戦術は一つの戦略に対して一〇個、具体的なアクション・アイテムで、誰が、いつまでに、何をするか。障害は想定できる項目(政治的、感情的なものも含む)すべてリストアップいたします。

《リーダーは全人格》

リーダーは、全人格が問われます。ビジョン・ミッションを明確にしたうえで事業プランを策定して、計画執行責任者として取り組まなければなりません。言葉を正確に使い、深く考え、多少の事には、眼をつぶることも必要です。

二〇〇七年は、読者のリーダーの皆様と『深思高飛』深く考え、高く飛ぶ。で邁進を共に共有いたしたくお願い申し上げます。(隔週掲載)